

しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年3月19日号 (通算第5号)

子どもとの Q&A (ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです!)

Q : 私は本を読むのは好きなのですが、感想文がうまく書けません。どのように書いたらいいですか。(小学校5年)

A : 本を読むのが好きということは素晴らしいことです。それだけで百点満点です。

ところで、学校の先生から「この本の感想を書いてごらん」と言われることがあります。それは、その本を読んで、「どう思いましたか」「どんな気持ちになりましたか」「何か学んだことがありましたか」「役に立ったことがありましたか」「何か考えましたか」「私だったらこうするということはありませんでしたか」「これはおかしいと思ったことがありますか」「こうしたらよいのと思いませんでしたか」などということが、1つでもあったらそれを書いてほしいということなのです。難しく考えないで、自分の思ったこと、考えたことを素直に書いてみましょう。



大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を!)

Q : 子どもがラインにはまって、夜昼なくやっていて勉強に身が入りません。とても心配です。どうしたらよいでしょうか。



A : ラインにはまってしまうと、相手がいるので、なかなか切り替えができません。

そのために、ラインのゲームなどをだらだらとやっていて、切り替えができず、時間が守れず、「お小言の原因」になり、子どもも家族もイライラしてしまいます。周りの人に聞いてみましたが、特効薬はなさそうです。スポーツや飼育栽培など集中してやることがあるとどっぷりつかることがないそうです。また、厳密にできなくても概ねはじめがつけばよしとすることでいいのではないのでしょうか、という意見が多くありました。

学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある!)

Q : 学級新聞に、担任の個人的なことを書くのはおかしい。子どもの作品は公平に載せてほしいと苦情がありました。どのようなことに注意したらいいですか。

A : 学級新聞を発行する目的を再確認してみることが大切です。「学級担任の教育の

考え方や方針を知らせ理解してもらい、協力してもらう」「子供の学校生活や学習の状況を知らせる」「子供の頑張っていることや育ち振りを知らせる」「子供の課題にどうに対応しているか知らせる」「子供の作品や意見などを載せる」「保護者をお願いしたい事等を知らせる」などが発行の目的と考えられます。したがって、担任の個人的なことは、活字にすることは控え、どうしても話したいときは、保護者会などの折に直接話したらいいかがですか。

